

3. 工学専攻における修士論文の審査基準

本専攻では、研究倫理を遵守して研究及び論文執筆がなされていることを前提に、学位論文を下表の基準により評価します。学位授与は論文審査及び最終試験の結果に基づき、総合的に審議し、判定します。

	修士論文	チェック項目（例示）
1	問題の意義が明確か	論文の目的が述べられているか。問題が明確に記述されているか。その重要性が示されているか。そのことに説得力があるか。etc.
2	先行研究の吟味ができているか	重要な先行研究を網羅して検討しているか。その評価は妥当か。問題設定との関わりが明確にされているか。etc.
3	方法が妥当か	問題を追及するのにふさわしい方法か。そのことが自覚されているか（方法論的自覚があるか）。etc.
4	論文の構成は適切か	問題設定と整合性がとれた構成となっているか。etc.
5	論理的に展開されているか	論理に矛盾や飛躍がないか。論旨が明確になるような記述になっているか。etc.
6	証拠に基づき客観的に分析・考察・記述がなされているか	証拠が十分に集められているか。その解釈は妥当か。分析・考察結果を明確に記述できているか。etc.
7	結論は妥当か	設定した問題に整合的に答えているか。考察の結果を踏まえた結論となっているか。明らかになったこととそうでないことが区別され、残された課題が明示されているか。etc.
8	引用・注記・文献の表記などの作法，文章表現・表記は適切か	引用・注記・文献の表記などの作法は適切か。文章表現，レトリックなどは適切か。etc.
9	新たな知見が得られているか，または独創性はあるか	新たな知見が得られているか，またはその研究分野，あるいは取り扱う問題に関わって独創性はあるか。etc.